

# 河村市長が講師 木造天守閣熱弁

愛知淑徳大

河村たかし名古屋市長を講師に迎えた特別講義が二十一日、千種区の愛知淑徳大星が丘キャンパスであり、市長は「名古屋の魅力づくり」をテーマに、名古屋城天守閣の木造復元について語った。

交流文化学部の観光ビジネス論の授業の一環で、観光資源の魅力の引き出し方を学ぼうと企画。二、三年生約七十人が出席した。講義に先立ち、木造復元の是非を尋ねるアンケ

名古屋城天守閣の木造復元について話す河村市長＝千種区で



ートを学生に実施。五十五人中、賛成が38・2%、反対が25・5%、どちらでもない・無回答が36・4%だった。

河村市長は名古屋城の歴史や観光資源としての価値などを話し、木造復元の計画や意義を説明。男子学生が「木造になると天守閣のエレベーターがなくならないと思うが、バリアフリーをどう考えるか？」と質問すると、市

長は「体の不自由な人は、ガイドが担いだしよいに乗り、ガイドと話しながら天守閣を上ることもできる。エレベーターは地震で止まるし、必ずしも体の不自由な人に優しいとは思わない」と答えた。

講義を受けた二年の松井邑実さん(三〇)は「市長の話を聞いて、名古屋城に興味を持った」と話した。

2015年10月23日(金) 中日新聞 19面より  
この記事・写真は中日新聞社の承諾を得て転載しています。